



2016年4月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 コーポレートガバナンス推進担当
 IR・グループ広報
 TEL 03-6895-0178

2016年3月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	3月度
百貨店事業	▲ 7.1
パルコ事業	▲ 6.2
卸売事業	▲ 17.4
クレジット事業	3.4
その他事業	▲ 7.7
連結合計	▲ 7.5

※注)大丸心齋橋店は、本館建替え工事のため売場面積が対前年約▲4割減になっています。参考数値として心齋橋店の本年・前年実績を除いた3月度の売上は、百貨店事業合計対前年▲5.0%減。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・ 3月度の百貨店事業の売上高は、化粧品、美術品が売上を伸ばしたほか、ホワイトデー商戦も好調に推移したものの、春物ファッション雑貨や時計宝飾品の動きが鈍かったことに、心齋橋店本館建替えによる面積減や名古屋店の改装工事によるマイナス影響も加わり、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲7.1%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲7.1%減となった。

2) パルコ事業

- ・ カード顧客優待セールが好調であったことに加えて、化粧品、バッグなどが売上を伸ばしたものの、春物衣料品の動きが鈍かったほか、パルコ劇場や総合空間事業のパルコスペースシステムズが前年に大幅増となった反動減も加わり、パルコ事業全体では対前年▲6.2%減となった。

3) その他

- ・ 卸売事業の大丸興業は、食品・リテール事業が苦戦したことから、対前年▲17.4%減となった。
- ・ クレジット事業のJFRカードは、加盟店手数料や割賦販売手数料などが増加したことから、対前年3.4%増となった。
- ・ その他事業は、J.フロント建装の前年大型改装工事売上計上の反動減の影響により、対前年マイナスとなった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートガバナンス推進担当 IR・グループ広報
TEL	03-6895-0178	
FAX	03-6674-7565	

2016年3月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	3月度	
	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲23.2	▲43.5
大丸 梅田店	▲1.3	▲3.2
大丸 東京店	1.3	1.2
大丸 浦和パルコ店	▲15.6	▲16.3
大丸 京都店	▲6.3	▲4.3
大丸 山科店	▲5.9	▲5.0
大丸 神戸店	▲8.6	▲5.9
大丸 須磨店	▲4.4	▲4.2
大丸 芦屋店	▲5.0	2.8
大丸 札幌店	▲3.2	▲4.2
松坂屋 名古屋店	▲6.3	2.3
松坂屋 上野店	▲3.0	▲6.7
松坂屋 静岡店	▲8.7	▲3.9
松坂屋 高槻店	▲9.6	▲8.0
松坂屋 豊田店	▲6.5	▲6.5
大丸松坂屋百貨店合計	▲7.1	▲7.3
博多大丸	▲4.9	▲3.4
下関大丸	▲11.5	▲14.2
高知大丸	▲8.5	▲9.3
百貨店事業合計	▲7.1	▲7.3

※注)大丸心齋橋店は、本館建替え工事のため売場面積が対前年約▲4割減になっています。
参考数値として心齋橋店の本年・前年実績を除いた3月度の売上は、大丸松坂屋百貨店
合計対前年▲4.7%減、百貨店事業合計同▲5.0%減。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	3月度
紳士服・洋品	▲10.2
婦人服・洋品	▲9.1
子供服・洋品	▲2.7
その他の衣料品	▲17.4
衣料品計	▲9.0
身 回 品	▲13.6
化粧品	10.8
美術・宝飾・貴金属	▲13.8
その他雑貨	1.3
雑 貨 計	▲1.6
家 具	▲17.7
家 電	▲66.3
その他の家庭用品	▲12.6
家庭用品計	▲16.0
生 鮮	▲2.7
菓 子	▲2.3
惣 菜	▲4.5
その他食料品	▲7.7
食料品計	▲3.9
食堂・喫茶	▲7.3
サービス	▲6.4
そ の 他	3.5
合 計	▲7.1

3. 売上高概況

心齋橋店本館建替えによる面積減の影響などにより、売上高は前年を下回った。婦人服・洋品は、コート、スカートなどの春物衣料品が苦戦した。紳士服・洋品は、スーツ、ジャケットなどが前年並みに推移したものの、カジュアルアイテムが不振であった。身回品は婦人靴、かばん・旅行用品などが苦戦した。雑貨は、美術品や化粧品が好調を持続したものの、前年好調であった宝飾品の反動減などにより苦戦した。家庭用品、食料品はそれぞれ、名古屋店、心齋橋店での面積減の影響などにより前年を下回った。